

武庫川溪谷と桜の園ハイク

第 31 回武庫川エコハイク

091010 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の蓬川の西側が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

武庫川溪谷 神戸市北区道場地区から西宮市生瀬地区までの全長 14km の武庫川溪谷のうち、特に武田尾から生瀬までの 7km を武田尾溪谷と呼び、武庫川に沿って旧国鉄福知山線廃線跡があり、四季折々の景観の美しさ、生物の多様性から都心に近いハイキングコースとして市民に親しまれている。ほかの河川と異なり、上流にあるはずの溪谷が下流沖積平野の直上にある。(河床勾配図参照)

武庫川溪谷の地質 凝灰岩等を主体とする流紋岩類からなり、有馬層群と呼ばれる。これは 1 億年ほど前の白亜紀に火山噴出物が堆積したと考えられている。(兵庫県地質 C ランク)

武庫川溪谷の成り立ち 約 100 万年前に起こった六甲変動と同時期にこの地域も隆起し、これに対抗して武庫川が穿刻し、流路がそのまま残る特異な先行河川が形成された。(兵庫県地形 B ランク)

武庫川溪谷の景観 V 字谷の景観資源的価値と自然価値の両面から評価されて兵庫県自然景観 B ランクに位置づけられる。

武庫川溪谷の植物群落 洪水が繰り返し発生する環境で岩上植物群が生息している。(サツキなど兵庫県植物群落 A ランク)

JR西宮名塩駅 昭和 61(1986)年福知山線の複線電化に伴い、線路の付け替えが行われ、昭和 61(1986)年新駅が誕生した。名塩ニュータウン、名塩川流域の住宅開発にも対応している。今は武田尾駅まで 2970m のトンネルで結ばれた。

くらがり街道 生瀬宿から道場河原宿を経て三田へ通ずる街道、三田街道あるいは丹波街道、今は国道 176 号線がこれに代わる。

尼子谷川 名塩川の支流、西宮高原ゴルフ倶楽部に源流を持つ。

旧福知山線廃線跡 旧福知山線は明治 32(1889)年阪鶴鉄道として建設、明治 39(1906)年国鉄になり、昭和 61(1986)年廃線となった。その後管理されていないため自己責任でということハイキングが黙認されている。

旧リバーサイド住宅地 平成 16 年 10 月 23 号台風の洪水で床上浸水 83 戸の被害を受け、全戸移転することとなった。

武庫川の石ころ(伝承) 住吉の大神をめぐり猪名川の女神と武庫川の女神が恋の鞘当てをし、猪名川の女神が身のまわりの石ころを武庫川の女神に投げつけ武庫川に生えていた芹草を一本残らず引き抜いてしまったという伝承がある。(8 世紀の住吉大社神代記)

名塩川 国見山付近に源流があり、名塩の集落を通り、武庫川に注ぐ。

どん尻川 武庫川の支流読売ゴルフ場に源流を持ち、途中に西宮市上水道水源池のどん尻

コープともしびボランティア振興財団からの助成により作成

ダムがある。

高座岩 溪谷中最大の岩石、竜宮につながるといわれ、雨乞いに岩上に動物の生き血を塗り祈るとこれを流すために雨が降ると伝えられる。

武庫川ダム計画 武庫川下流の治水対策として兵庫県が計画、武庫川溪谷の自然環境を保全するため対策を検討中。裏面参照

人面岩場 ダム計画地の対岸の岩場は見方によって人や動物の顔に見えることから人面岩場と呼ばれる。

十国の瀬、十国の滝 第 2 北山トンネルの入口から上流が十国の瀬で溪谷最大の瀬である。対岸上部に雨の後にだけ流れる十国の滝(空水の滝)がある。

第 2 北山トンネル 全長 413m、コースで最長のトンネルで中が S 字にカーブする。

重次郎ヶ淵(鯨ヶ淵) 1761 年名塩の教行寺建造のための木材を武庫川を流して運んでいたが、1 本の大木が淵に沈んだのを村民の重次郎が引き上げるために飛び込み、木は浮かび上がったが重次郎は帰らぬ人となった。村人たちは重次郎の名を後世に残すため淵の名とした。(伝承)

溝滝 溪谷最大の滝、雄滝、雌滝がある。両岸から岩石が迫り狭くなった所を流れるので溝滝という。かつては鮎などが昇り、播州の鬪龍灘と並ぶ名風物であったといわれ、駅弁の淡路屋は生瀬駅で生まれ鮎寿司を販売していた。

天狗岩 武庫川第 2 橋梁から左岸下流の断崖上部に見えるのが天狗岩で、その昔、武庫川の生業を見極めるために天狗が座し、川の繁栄を祈ったという。(伝承)

近くにあった仙人岩は阪神大震災のとき川に崩落した。

桜の園「亦楽山荘(えきらくさんそう)」 面積約 40 ヘクタール、笹部新太郎氏(1887~1978)の桜の演習林で、最盛時には山桜、里桜が 30 種 5 千本が植えられていたという。現在は宝塚市の里山公園。「亦楽山荘」は建物を指すのではなく、演習林全体をさす。現在里山ボランティアグループ「櫻守の会」が保全活動を行っている。(現在園内一部通行止めあり)

新田川(滝川) 大峰山北麓を源流とし、宝塚市が上水を取水している。

僧川 「ぼうさんがわ」ともいう。古宝山を源流とし、上流に宝塚市の上水を取水。

温泉橋 旧武田尾駅の改札口前の位置にあり、周辺に茶店がある。この辺りの家屋 23 戸は平成 16 年 10 月の 23 号台風で床上浸水の被害を受けた。

水管橋 神戸市水道局千苅水源池から西宮の上ヶ原浄水場への送水管、大正 8(1919)年完成、橋脚は近代土木遺産の一つ。

武田尾温泉 17 世紀に獵師武田尾直蔵が発見したと伝えられる。18 世紀中頃には武田尾温泉が金龍湯と呼ばれていたという文献がある。硫化水素をわずかに含有する単純泉。旅館は 4 軒あり(1 軒休業中)、15 時までなら日帰り入湯も可。

武田尾橋 吊橋、平成 16 年 23 号台風で流失、18 年に改築された。

JR 武田尾駅 80%がトンネルの中にある無人駅。西宮名塩駅との間はトンネルで結ばれた。(「宝塚市史」、「続羽東の郷土史誌」より)